

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	皮膚・軟部組織感染症診断における近赤外線分光法(NIRS)の有効性に関する単施設後方視的研究(B24-031)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部 救命救急医学 大井真里奈(助教)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	皮膚軟部組織感染症は、その深達度から蜂窩織炎と壊死性筋膜炎に分類されます。蜂窩織炎は抗菌薬による保存的加療で改善が見込める比較的予後のよい疾患ですが、壊死性筋膜炎は急速に感染が進行するため迅速な創部のデブリードマンが必要とされ、致死率も高いことが知られています。両者の鑑別は初期の段階で迅速かつ的確に行わなければならなりません。侵襲の少ない鑑別法は確立されておらず、未だ手術による壊死範囲の確認が必要です。本研究では、近赤外線分光法(NIRS)を用いて、患部と対側の四肢に測定器を貼付することで両者の鑑別が行えるかについて検証することを目的としています。
調査データ 該当期間	2019年10月から2024年5月までに当施設に救急搬送され皮膚・軟部組織感染症の診断にNIRSを使用した成人患者を対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に皮膚・軟部組織感染症で当院へ救急搬送された成人の患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2019年10月1日から2024年5月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は救命救急医学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	<p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：救命救急医学・助教 担 当 者：大井 真里奈(オオイ マリナ) 電 話：042-778-8111</p>
備 考	なし